



# 議会だより

第161号

発行  
平成30年6月1日

■発行責任者：南種子町議会議長 小園 實重 ■編集：議会広報編集委員会 ■住所：南種子町中之上 2793-1 電話 26-1111



昔の遊び体験(広田ミュージアム)

平成30年第1回定例会(3月定例会)が3月5日から19日まで開催されました。

## 主な内容

一般質問(9名).....	2~10
論点.....	11
予算委員会委員長報告.....	12~13
産業厚生委員会委員長報告.....	14~15
賛否が分かれた議案・編集後記.....	16

一  
般  
質  
問



柳田 博 議員

# キャトルセンターの運営について

柳田 キャトルセンターを造った初期の目的は。

町長 畜産農家の労働力軽減により、飼育頭数の規模拡大・畜舎等への投資抑制・高齢者の経営維持による畜産振興です。

柳田 畜産農家戸数の推移は。

総合農政課長 キャトルセンターの建設を計画した平成20年度は116戸で、平成29年度は88戸で31%（28戸）減少している。

柳田 キャトルセンターの利用戸数は。

総合農政課長 開設当初の平成22年25戸、24年の38戸をピークに29年は22戸。

柳田 88戸の畜産農家が22戸しか預託しない理由は何か。そのことが赤字の一番の要因だと思ふが。

町長 農家が期待しているほど競り市出荷時の増倍率のばらつきに対する不満や去勢後の受入れ時期が遅れること。平成25年度より子牛価格が上がり、飼育管理の機運が高まり、畜産專業化の規模拡大が進んだことが要因と分析

している。

柳田 分析を踏まえ、今後預託の推進をどのように考えているか。

町長 これまでの経過を踏まえ、センター運営協議会・利用組合を中心に預託農家と頭数の確保の推進、飼養管理技術の向上、去勢前受入れ体制改善等により対策を行っている。

## 陳情事項の処理状況について

柳田 昨年6月の定例会で採択した上中中心街に駐車場及びトイレ設置の陳情について、その後の処理状況と進捗状況が私たちに見えてこない。その後の状況は。

町長 目的は中、心市街地の活性化を大前提に置き、どのような対策が効果的か、事業調査、費用対効果、設置場所の設定など検討を進めている。中心市街地の活性化にむけ早急に実施します。

## 防災無線の放送内容の充実を

柳田 朝・夕の情報の周

知等については、町民は非常に助かっている。ただ、町内の情報をもとより、島内市町の情報や特に町を代表して出場するイベント等については絶対放送して欲しいとの要望があるが。

町長 防災行政無線の放送内容は防災・防犯・行政事務・試験放送に限り放送することになっているが、今後、各課とも連携し、質問の趣旨も踏まえ、内容を検討したい。

## 町購入スクールバスの運行について

柳田 町購入のバスによるスクールバスは平成30年度から運行ということでした。降雨時のバス待合所等含めた運行ルート・時刻表は、中学校・保護者に周知しているのか。

教育長 運行ルートについては、これまで4路線だったが、乗車時間が長い西之線・島間線を改善するため、大川線を増やし5路線にした。時刻表は、現在試験運行を行い最終調整中。乗降場所については、自宅から遠くならないよう配慮。年度内にバス通学希望者・保護者への説明を実施予定。

柳田 空き時間を利用してコミュニティバスとして運行するという事で購入に賛成した。その運行ルート・時刻表等は、いつ町民に周知できるのか。

企画課企画開発係長 コミュニティバスと民間バス等の運行時刻表をすり合わせながら検討を進めている。病院・温泉センター・上中中心部など町民の利便性を高めるため早い段階で運行できるよう努力します。

## 防災対策について

柳田 自然災害は想定外であり、いつ見舞われるかわからない。また、地域の方はどこへどういう手段で避難したらいいかわからない。最近では、北朝鮮からいつ核弾頭が飛んでくるかわからない。早急に、具体的にかつ実践的な避難訓練が必要だと思うが

町長 Jアラート・防災無線をとおして、緊急情報の住民への周知徹底を図り、引き続き危機管理体制に十分注視していきたい。



河野 浩二 議員

# 町長の企業誘致政策について

**河野** 現在、宇宙関連も含めて南種子町へ進出希望の企業はあるか。

**町長** 検討をしている企業はあるが、具体的な動きはない。

**河野** 執行部と宇宙関連企業との懇話会が発足していると聞く。その内容について伺う。

**町長** 種子島宇宙センター、三菱重工(株)など8社と本町とで意見交換を行う会議。南種子町への関連企業の進出依頼、ふるさと納税への協力などをお願いしている。また、各企業からは、南種子町への提言、要望事項などの御意見をいただいている。

**河野** 当町の「企業立地優遇制度」について伺う。

**町長** 「町過疎地域産業開発条例」の固定資産税の課税免除と「特定有人国境離島地域社会維持交付金」による雇用機会拡充事業等がある。

**河野** 県庁の産業立地課

で伺った話だが、鹿児島市内に精密プレス金型を製造している企業があり、代表取締役は南種子町出身だと伺った。

資本金9,000万、従業員数は76人の中賢企業である。5月の研修会の折、総務文教委員会で訪問し社長と懇談して来たい。このように、思わぬ所に当町出身の企業経営者が居ると思われるが、執行部はその事をどの程度把握しているか。

**町長** ある程度は存じあげて居るつもりだが、全ての当町出身者の経営者は把握していない。企業誘致等の為、非常に重要な事なので、調整して行きたい。

**河野** JAXA 50周年記念事業について、その概要と、当町ではどのようなことを企画しているか。

**町長** JAXA、種子島宇宙センターと協力して記念事業を実施する。町独自でも実行委員会を立ち上げ、記念式典、宇宙イラストコンクール、宇宙のまちおこしサミットなどを企画している。このイベン

トを契機として、宇宙留学生ネットワーク組織を立ち上げる計画もある。

**河野** 一般質問項目のベストスリーに「キャトルセンター」、「堆肥センター」は必ず入る行政課題である。しかしながら、これだけ議論してもなかなか問題の全容が見えてこない。これが現在の状況ではないかと思う。この両施設は名越町政が立ち上げた大きな施設方針です。名越町長の今任期中に、何としても、全てを解決できなくても、基本となる道しるべは作成しなければなりません。民営化への協議は進んでいるのか。

**町長** (株)山有の山村社長との協議の中で、民営化の方向が見えてきたと考えている。今後は会社側と充分なアクセスを取りながら、総合農政課を中心にして、しっかりと前進して参りたい。

**河野** 特用林産物とは、山林でとれる多彩な産物のうち、木材を除くほぼ全てのものの総称だ。これまでどのような振興策を展開してきたか。

**町長** 平成10年度より国、県の苗供給補助事業を活用してシキミ生産拡大が始まった。平成12年度、町花木生産組合を設立。平成23年度には冷蔵庫、集出荷施設の整備、平成26年度に育苗ハウスを整備するなど、販売促進を含めて、自主的に活発な活動を展開し、生産拡大を図っている。

**河野** 3年ほど前から、ヒサカキ(姫榊)の生産が始まった。シキミは仏教で仏壇に供えられるが、ヒサカキは仏壇にも神棚にも供える事が出来る神仏供用の枝物だ。本年11月15・16日には国産榊生産組合の全国大会が南種子町をメイン会場として種子島で開催される。この姫榊の生産について、町長の考えを寄せ。

**町長** 種子島はレザー、口ベ、シキミ等、高収益作物として、枝物、葉物のブランド産地化が図られようとしている。今後、本格的に生産が始まる。この姫榊もその一つとして、さらなる振興対策を講じていきたい。



立石 靖夫 議員

# 米軍基地等馬毛島移設問題 対策協議会離脱と解散

**立石** 平成24年12月中種子町議会が対策協議会から離脱し、南種子町議会も平成27年7月離脱した。平成29年12月中種子町長も離脱を表明した。

名越町長は同僚議員の質問でも離脱の意向をただしたが真意は得られなかった。次の対策協議会で真意を伝えると答弁したが、平成30年2月17日臨時会開催前に離脱を表明する文書を提出した。名越町長は離脱の理由も議会、町民に明かすことなく対策協議会から離脱したが名越町長の離脱の理由を示せ。

**町長** 米軍基地等馬毛島移設問題対策協議会は、設立当時反対色の強い活動を展開しており、平成29年3月に改選された西之表市長が、本協議会の新会長となった平成29年5月17日の通常総会時に中種子町長及び本町がこれまでの反対色の強い協議会では離脱も辞さないという意向に、新会長が賛成、反対を問わずニュートラルな立場で情報を収集し、島民に正確な情報を提供する組織であると協議会の方向性を示した。

これまでの反対色の強い本協議会の性質を払拭すること  
は困難と考え離脱届を提出したところですが、理由についての質問がありました。協議会の中で私は市長にいろいろ申し上げております。その辺については省きます。

**立石** 協議会解散によって本町が負担した残金はいくら返金されるのか。

**企画課長補佐** 南種子町への返金額は124万2596円でございます。

## 公共交通バス路線 (南種子西之表線) 継続政策の必要性は

**立石** 平成29年の75歳以上による運転免許証の自主返納件数は全国で25万2677件、平成10年の制度導入以降で最も多く、平成28年の約1.5倍で9万3306件増加している。

鹿児島県では、全体の自主返納者が5749件で、内75歳以上は436件、65歳以上は5568件で高齢ドライバーの免許証返納者はますます増加傾向で、我が離島である南種子島においては公共交通バスの必要性を強く痛感しております。

主返納者数は何人か。  
**総務課長** 種子島警察署に問い合わせた結果、平成29年南種子町民の自主返納者数は19人と聞いている。

**立石** 昨年の一般質問でも19人と答弁したが、その後自主返納者がいないのか。

**総務課長** 役場が直接返納に携わる事務をしているわけではありませんので、数字等については把握しておりません。

**立石** 免許証返納者への特典について本町は、河内温泉の利用料金100円割引、スタンプ会買い物優遇措置のポイント2倍、島内全タクシー業者による利用料金の1割引等の特典があるが、なぜ役場でわからないのか。

**総務課長** 警察署、公安委員会に返納届けを出しているのので全く報告がありません。

**立石** 南種子西之表線の公共交通バス運行赤字補填に1市2町が負担し、路線バスの減便を解消するため支援をしてきた。平成30年度も予算

を計上しているが、国の地方バス路線の維持費補助制度の補助金対象の要件緩和について、国土交通省に要望すべきと思うが。

## 社会体育施設の維持 管理等環境整備を図ること

**町長** 平成30年度も1市2町で予算化していると思うが、具体的な点は今後協議し国への要望についても協議していきます。

**立石** スポーツに親しみ、楽しめるスポーツ活動の充実を図るために、ゲートボール場、陸上競技場周辺に桜の木を植栽するべき。

## 旧高校跡施設整備を 早急に

**町長** 御指摘のとおり早速植えるように準備を進めます。

**立石** 社会教育施設が老朽化しているが年次計画で整備すべき。

**町長** 平成30年度中に総合的に検討し計画を作成した



大崎 照男 議員

## 防犯対策について

**大崎** 南種子町安全課、安心まちづくり条例が、制定されています。この条例は、町民生活の安全安心に関し、町及び町民の果たすべき責務を明らかにするとともに、関係団体との協働及び関係機関との連携並びに町民安全意識の高揚を図り、町民参画による生活の安全安心に対する施策の推進及び町民の自主的な安全活動により、全ての町民が安全で安心して生活できる住みよい地域社会の実現を図ることを目的とするとあります。

町民から身を守る、犯罪をなくすには、このような組織団体がぜひとも必要です。条例制定されて12年、これまでの組織された団体の数と、どのような活動がなされているのか。

**町長** 警察からボランティア団体として委託されているのは3団体で、主な活動としては、防犯活動の検討及び防犯パトロールに関する活動や、防犯知識の向上及び防犯意識啓発に関する活動が、主な活動で、種子島地区防犯協会地域安全モニターや種子島警察署少年ボランティアによる防犯パトロールや、交差

点等での立哨活動、町の方でも交通安全婦人部の方に、青パト巡回や教育委員会のスクールガード委託による巡回等も行っています。

### 地域おこし協力隊について

**大崎** 地域おこし協力隊の活動内容、人数について教えてください。町民への紹介が必要でないか。

**町長** 導入してから約1年、7名の地域おこし協力隊員が活動し、1人は種子島宇宙芸術祭の開催に向けての整理や準備を進めています。1人はトンミー市場の情報発信や販売支援の作業を実施、1人は、移住、定住の支援、移住ガイドブックの作成や空き家調査、町のホームページなどの保守作業を実施し、有機肥料を使った農作物のテストに向けた準備、1人は、ベンチの製作やアクセサリーの開発、販売へ向けた施策作業へ向けての準備、活動の状況については、4月の広報紙で、詳しくカラー写真で紹介します。

### 高齢者施策について

**大崎** 鹿児島県は、2018年度一般会計当初予算を発表、少子高齢化に目配りを主に施策を考えているとのこと。南種子町は、高齢者支援についてどのような考えをおもちか。

**町長** 地域包括支援センター、地域支え合い推進員が、65歳以上の全高齢者を対象に実態調査を行い、平成31年に福祉事務所を設置し、より細かな実態に沿った高齢者福祉対策を進めてまいります。

### 婚活について

**大崎** 実行委員会が主催し、平成30年度第5回星コンと名づけ、婚活イベント補助金135万円を計上、町内の单身男性を対象とした婚活イベントを計画、これまでの参加者の数と、結婚された数は。

**企画課長補佐** 参加者数は、男性89人、女性は129人の合計218人、カップル成立30組、結婚に至ったのが

5組。

### コミュニティバス路線と、時間帯について

**大崎** 現在4路線で、平山線、荃永線、西之線、島間線、各集落を中心に運行がなされています。平山線で広田、徳瀬は運行なし、荃永線で郡原運行なし、島間線で牛野原、牛野平、運行なし、これらの地域を路線にいれてもらえないか。

### 企画課企画開発係長

路線につきましては、なるべく多くの地域を運行しているところですが、この地域を運行する件につきましては、運行時間の増加になります。需要調査を行い費用の所要額を調査の上、地域公共交通会議での審議も必要になります。

**大崎** 公立病院の着時間と、出発時間が中途半端着が午前10時前後、帰りが3時前後、午前は早い時間に、午後の帰りを遅くできないか。

**町長** スクール路線との関係がありむずかしい、十分調査を行います。



塩釜 俊朗 議員

# 消防水利について

**塩釜** 近年、首都直下型地震や南海トラフ地震などの大規模災害に備え、いろんな対策を講じているとテレビ、新聞等で報道されている。消防水利に関する法規制に基づき防火水槽及び消火栓は、町内に何ヶ所あるか。

**町長** 防火水槽については町全体74基、消火栓は124基を消防水利施設としており町全体の水利施設は207である。

**塩釜** 今示された74基と124基はこの基準に満たされた数か。

**総務課長** 基準を考慮した上で、地域の状況及び要望等をふまえ関係機関等と協議して設置している。現在住宅の数、人口等も考慮した上で正確に全部が基準を満たしているというふうには考えていない。しっかり調査し関係機関とも協議し設置を考えていきたい。

**塩釜** 防火水槽はあるが標識がない。あつてもさびれてよく分からぬ。このような箇所が見受けられる。今後このような箇所は更新していくのか。

**総務課長** 以前設置された標識は昭和50年代に設置されたものがほとんど、年数がたっており腐食等により標識がなくなっているものや文字が消えて、わからないのが現状である。各分団から、補修なり新しく設置の要望も来ている。年次的に設置を行っているが、早急な設置に引き続き努めていきたい。

**塩釜** 防火水槽等、いろんな場所に設置していると思いますが災害等が発生した場合の避難経路に支障がある場所はないか。あった場合の対応はどのようにしているか。

**総務課長** 避難経路等については、安全確保の観点から支障がないものと判断され設置したものというふうを考えている。避難経路等で問題があるというところは、把握されていない現状でありますので今後、現在の道路状況及び住宅状況等踏まえながら調査して適切に対応していきたい。

## トンミー市場対策について

**塩釜** 昨年の3月定例会において、スクールバスをコミュニティバス兼用として運行

していますので、トンミー市場前にバス停を設置し高齢者等の交通弱者、買い物弱者等に対応出来るようお願いしておりましたがその後検討したか。

**企画課企画調整係長** コミュニティバスのトンミー市場へのバスの停車につきまして、地域交通会議で審議が必要となりますので、審議の上、実施に向け協議してまいりたい。地域交通会議での平成29年度の会議では検討してまいりたい。

**塩釜** 昨年の3月定例会において、トンミー市場を道の駅指定に申請すべきではないかと質問いたしました。その後検討はしたか。

**町長** トンミー市場を道の駅とするために、登録に向けて準備を進めていくという事で当面はしておきたい。

## 障害者優先調達推進法の対応について

**塩釜** 国等による障害者就労施設等からの物品等の調達等の推進等に関する法律が平成25年4月1日から施行されている。地方公共団体は、障害者就労施設等の受注機

会の増大を図るため措置を講ずるよう求める責務を定められている。南種子町は、既に策定している。調達の実績は年度末に公表されることになっているが、障害者施設からの実績をお伺いしたい。

**町長** 町内の社会福祉団体では利用しておりますが、これまで実績がないのが現状である。需要の増進を図るための推進方針に基づき努力してまいりたい。

## 子育て支援策について

**塩釜** 島外等から授乳等を連れて来た家族は、チャイルドシートはないか、授乳が出来る場所がないかという意見を聞く事がある。チャイルドシートは社会福祉協議会が取り組むことになっている。おむつがえや、授乳が出来るスペースを、公共施設の一角に設置する考えはないか。

**町長** これを一挙にやるというのとは不可能だと思えます。御意見も伺いながら努力する必要があると思えます。設置に向けて検討していきたい。



上園 和信 議員

## 地域医療の充実について

**上園** 地域医療は、住民に必要な医療供給体制であり、地域住民が安心して暮らすためには、欠かすことができない。早く常勤医師を確保し、早急に公立種子島病院を立て直してほしい、地域住民の切実な声です。  
**公立種子島病院の経営体制、新年度へ向けどう充実していく考えか。**

**町長** 新年度医師体制は、小児科の徳永医師の招聘が決定しており、常勤医師3人と、非常勤の三宅医師を含めた診療体制の構築を図り、現在交渉中の医師にも引き続き支援いただけるよう交渉してまいりたい。

医療の充実は、年次的、計画的に整備を図っており、平成29年度は16列CTから幼児や循環器までの撮影が可能な80列CTを導入。  
超音波診断装置も頸部、心臓、循環器、腹部それぞれ幼児にいたるまでの撮影ができる機種へ更新した。

**上園** 歯科診療所が1カ所となった。町長はどう受け止めているか。

**町長** 状況については県とも協議したが、基本的には中種子町に3医院、西之表市に7医院がある。種子島全体からいうとそれが相当満たしているということ、町が歯科診療所を運営、招聘することについては考えていないというのが現状である。

**上園** 地域医療を病院だけではなく、町民も行政も一体となり、しっかり守っていくという考えから「地域医療を守り育てる条例」を制定する考えはないか。

**町長** そういう方向で検討したい。

### 高齢者等の「ゴミ出し」支援対策について

**上園** 高齢化社会の到来に向け、高齢者などのゴミ出し支援制度導入の取組みをどう考えるか。

**保健福祉課長** 介護保険の生活支援体制整備事業のなかで、全地区に地域支えあい協議会、地域支えあい推進委員を配置し、地域における支

えあいの仕組みづくりを進めている。

平成30年度は、モデル地区を設置し、地域見守り隊を組織して、体系的に取り組み体制を整備し、ゴミ出し支援対策を進める。

### 行政組織・機構の改革について

**上園** 本町が抱える行政課題、人口減少、それに伴う空き家の増加、少子・高齢化対策、農業・漁業振興と後継者問題、耕作放棄地解消対策、商工業の振興発展への取組みなど、この課題解決のため、行政の組織・機構を改革する考えはないか。

**町長** 行政需要の変化を的確に捉え、持続可能で、質の高い住民サービスの提供を図るよう、効率的な組織体制の確立に努めてまいりたい。

**上園** 入りやすく、わかりやすい、役場庁舎づくりに取り組む考えはないか。

**町長** 平成29・30年度2カ年にわたり窓口サービスス

テップアップ研修で職員の資質向上を図っている。

今後とも研修会等を通して、職員の意識改革、接遇の向上、業務改善に取り組み、職場の風土づくりに努めてまいりたい。

庁舎内トイレの開放と案内板の設置、開放的なスペース等については、利用者の利便性を考慮し、なるべく早く対応しなければと感じている。

**上園** 地域包括支援センター、保健福祉課内にあり、保健福祉課長がセンター長である。業務内容があまり住民に浸透していないような気がする。高齢化社会を迎えて今後非常に重要度を増す部署と考える。

広報紙等で、業務内容の周知を図る考えは。

**保健福祉課長** 広報紙に毎月、包括支援センターだよりを掲載している。以前、業務内容も細かく広報した経過もある。さらに、広報活動を充実させたい。

## 公立種子島病院の運営 について



広浜 喜一郎 議員

### 町民の意見や要望について

**広浜** 公立種子島病院に対し、町民からいろいろな意見や要望が耳に入ってきます。まず一点目に、受付をして診察をするまでの時間が長すぎる。朝9時に受付をして12時過ぎまで待っても診察をしてくれないので、腹が立って家に帰ってきたという人。

診察が済んでから会計の計算が済んで呼ばれるまで1時間以上もかかる。この前は1時間半以上も待たされたという人。薬をもらうだけなのに、その診察に2時間以上、会計をするまでに1時間以上もかかり、昼の12時を過ぎた時もあつたという人。

診察の予約をしていたのですが、1時間以上も予定時間を過ぎてしまったという人。このようなことを多く聞くようになりましたが、その原因は何なのか、改善できるところはないのかどうか。町民にもわかりやすいような町長の答弁を求めます。

**町長** 結論を言えば、医者

不足による状況が、町民の要望の大きな課題であるということ。4月からの町政座談会で細かく説明を、時間をかけてしたいと思っている。電子カルテの導入で幾分の会計処理の時間を短縮することは可能であると思いますが、メリット、デメリットもあります。当面、医師確保を優先課題として取り組んでいる。内部においては鋭意知恵を出して改善への努力をしてみたい。

**広浜** 電子カルテの導入をする場合およそ幾ら位の予算がかかるのか。

**町長** 大体1億位だそうです。

**広浜** 午後の診察やリハビリを現在やっていないわけですが、関係するスタッフについては、午後は何をしているのだろうかという質問が町民からあります。

**町長** リハビリについては午前中は外来患者のリハビリを行い、午後は入院患者のリハビリを行っている。外来ス

タッフは、検査技師及び放射線技師においても、入院患者の検査と午後の時間外患者の検査及び職場健診関係の検査及び撮影業務を行っている。看護師については、非常勤看護師は午前の外来診療のみで勤務を終える。常勤看護師は在宅医療と時間外診療、健診業務を行っている。

**広浜** 町長は選挙公約で公立病院の運営を早急に立て直し、医療福祉の充実を図ると町民と約束していますが、ずっと赤字が続いております。平成29年度の決算見込みは、

**町長** 決算見込額は2643万円の赤字を見込んでいます。

**広浜** このように平成29年度も相当な赤字で、公立病院の運営は全然立ち直っていないと思えますが、公約が守れない町長は、現状をどのように考えているのか。

**町長** 医師がいないことによつてこうなっているわけです。1年の間にはきちんとそろえたいと努力している。

**副町長** 決算見込みが赤字ということですが、要は医師の確保ができれば改善できると考えている。4月23日にはもう1人先生が来る見込みです。

**広浜** 4月23日から常勤が1人着任する予定だということですが、常勤は4名体制になるといふことか。

**副町長** 契約が4月23日ですので、診療はできると思いますが。しかし、午後の診療は5人体制じゃないとできないのではないかと思う。できるだけ1週間のうち1日でも2日でも午後も診て欲しいとお願いしている。



▲公立種子島病院





日高 澄夫 議員

## 国保税の引下げを

**国保税について、応能・応益の割合を60対40に**

**日高** 今定例会の3月5日、議案第7号国保税条例の改正案が提案されるとは思っていないでした。理由は、平成29年第4回定例会で、町長が税務課長に次のように答弁させていました。それは、「6月の本算定前に確定した所得に対する税額等を求め、税率改正については、そのとき判断したいというふうに考えています」と答弁しています。

課税、収納事務は、あくまで市町村の責任ですから私は今定例会で、最後に最初の要望をしようと考え6月議会までに検討してほしかった。

税務課長の答弁を信じて税率引き下げの提案をした私が馬鹿だったし、南種子町から裏切られたという気持です。

私が国保税引き下げを要求する理由は、南種子町の国保税が高いからです。現行税率では、熊毛で一番高い税率になっていると思いますし、県内でも高い方に位置しているのではないかと思っております。

平成7年国保法が改正され応益割合が高い市町村に対しては、新たに2割軽減措置

を設けました。南種子町の応能・応益の比率は、平成23年度の改正では50対50どころか39.9対60.1として平成29年度まで応益が高くなっています。この結果の新たな問題として、2割軽減されない境界層の被保険者が苦しい生活を強いられています。

6月議会で60対40を改めて検討する考えはないでしょうか。

**町長** 私も気になってるのは税務課長の答弁です。新制度が動き出す平成30年度です。この一年間新制度でやる中で議員の発言している内容の分析も図ってみたいと現時点での考えです。

### 町職員の交通事故及び行政処分に関する規程について

**日高** 平成24年4月1日訓令2号は廃止すること。

梶原弘徳前町長が、前代未聞の職員を懲戒免職する事件が発生しました。

平成24年6月22日懲戒免職。同年7月6日県人事委不服申し立て。平成25年6月18

日同委員会不服申し立て棄却。

同年12月11日鹿地裁に提訴。平成27年2月24日鹿地裁懲戒免職処分を取り消す判決。

同年4月28日南種子町が鹿地裁判決を不服として福岡高裁宮崎支部に控訴。同年7月8日控訴棄却の判決。南種子町が最高裁に上告しなかつたので結審、懲戒免職処分取り消しの判決が確定し、職員が勝訴しました。

一方、平成24年4月1日改正されたとする「南種子町職員の交通事故及び交通法令違反に対する行政処分に関する規定」訓令2号は、実際は平成24年6月ごろに改正されたものであり、訓令2号は、虚偽有印公文書作成、同行使用したものであるとして、梶原弘徳前町長ほか3名を平成25年9月2日種子島警察署に告発、平成29年7月31日鹿児島地方検察庁は不起訴処分。

不起訴処分は不当と検察審査会に平成29年11月10日申し立てましたが、検察審査会は「不起訴処分は相当」の議決。

一連の裁判所の判決、検察官の処分ではつきりしたこと

一つ、訓令2号は平成24年6月29日に口頭で職員に周知され、同年9月20日例規集に掲載されたものであり、検査された後に公布されたものとして審は判断しています。

二つ、訓令2号について、検察官は平成24年4月1日は虚偽であると認めている。

問題を引き起こした梶原弘徳前町長の政治的、道義的責任は今後も追及しなければならぬ事件であると思えますので、訓令2号は廃止以外にないと思えます。町長の判断をお伺いします。

**町長** 総務課長に答弁させます。

**総務課長** 平成24年4月1日に制定されたという訓令2号南種子町職員の交通事故及び交通法令違反に対する行政処分に関する規程の一部を改正する訓令について、これまでの事実経過として、日付をさかのぼって改正した事実が判明したため、訓令そのものの効力が無効という結論に達し、平成30年2月1日付で同規程の全文を改正する訓令を施行し、職員に周知徹底しました。

# さとうきび生産回復対策 について



西園 茂 議員

**西園** 平成29/30年産のきび生産額、昨年と比較して約2億円の減収です。きび作農家ほとんどが赤字で、生活が大変です。今年のきび振興対策6事業で、平成30/31年産計画の474<sup>トン</sup>・10<sup>ヘクタール</sup>当たり6.5<sup>トン</sup>を達成できると考えているのか。

**町長** きび作農家が大変であることは、十分理解しています。本町の堆肥生産を民営化し、大量生産して、堆肥の投入でさとうきび生産し、奄美のきび生産に優る実績を実現したい。

**西園** 農業振興を図るための、組織の在り方について検討が必要としているが、具体的にどうするのか。組織を充実させる活動には、予算が伴うが確保しているのか。

**町長** 具体的活動について

では、もう少し時間をいただきたい。さとうきび等、他の生産組織も、すべて農協組織である。役場にはそういった組織がない。組織の三役が一同に会して意見をのべ、数値目標をたてることは、いくらかの意識改革ができると思う。予算化に取り組みたい。

**西園** 新光糖業の希望として、島内で15万トンのきび生産を必要だとしている。本町では最低でも3万トンのさとうきびが必要となります。現状ではハーベスター所有の大型



▲新光糖業との意見交換

農家だけの3万トンのきび生産クリアは困難です。規模の小さな農家があつて、目標が達成すると思うが、刈り取り料金が大きく、経営の継続が困難であると聞きます。農業公社の刈り取り料金の値下げがネックとなつていると聞くが、1000円から2000円の値下げはできないのか。

**町長** 農業公社は農協・中種子町・南種子町、3者で、出資し運営している。理事会に奄美の視察もしていただきたいと思つている。会長である中種子町長とも、料金値下げの話し合いをしたい。

**総合農政課長** 規模別の農家戸数では2<sup>ヘクタール</sup>未満の農家が85<sup>パーセント</sup>を占めている。奄美大島では、刈り取り料金5500円を実現している。種子島農業公社のハーベスター利用組合関係、町の利用組合とも

検討しながら進めたい。



▲新光糖業視察

**西園** 町堆肥の増産が思うようにできていない現実を考えると、町堆肥の利用計画を検討する考えはないか。

**町長** 総合農政課で必要とする堆肥量・年次計画的な数字はもっている。現実として増産ができていないので、生産を民間に委託する事で、増産につなげたい。

### 平成30年度当初予算

一般会計歳入歳出総額  
54億5400万円

#### 特別会計

国民健康保険  
8億4052万7000円  
簡易水道  
4億4518万1000円  
介護保険  
6億8153万3000円  
後期高齢者医療保険  
8800万円  
(一般会計、特別会計)可決

## 条例

- 南種子町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例制定(可決)
- 南種子町税条例の一部を改正する条例制定(可決)
- 南種子町自然の家の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定(可決)
- 南種子町後期高齢者医療

に関する条例の一部を改正する条例制定(可決)

●南種子町国民健康保険条例の一部を改正する条例制定(可決)

●南種子町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定(可決)

●南種子町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例制定(可決)

●南種子町介護保険条例の一部を改正する条例制定(可決)

●南種子町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定(可決)

●南種子町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定(可決)

●南種子町指定地域密着型介護予防サービス事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定(可決)

●南種子町多目的交流施設設置条例の一部を改正する条例制定(可決)

●南種子町地域防災拠点施設の設置及び管理に関する条例制定(可決)

●南種子町都市公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定(可決)

●町長等の給与等に関する条例制定(可決)

## 事件

●南種子町辺地総合整備計画の変更について(可決)

●南種子町農業者休養施設の指定管理者の指定について(可決)

## 論点

### 主な質疑から

平成30年度予算総括質疑

**質疑** 三役の給与10%減額特別条例が提案されていない理由は。

**町長** 三役の給料を削減すると公約したが、今回は提案しない。

**質疑** 平成29年度本会議の質問で堆肥センターを民間委託すると表明したが、平成30年度委託するのか。

**町長** 民間委託は現状のところ考えていない。

**質疑** 国民健康保険税条例改正案が提案されているが、応能応益の所得割、均等割、平等割の税率は。

**税務課担当参事** 県が標準税率を行うことから税方式の変更もある。

### 議案質疑から

**質疑** 税条例改正により報奨金を支払う制度が削除になるが、首長個人的な発想か。

**町長** 他の町と同じようにしたいというのが私の考え。

**質疑** 先日の予算総括質疑の中で質問に対し仕方なく条例制定議案を提出したのか。

**町長** その件については答える必要はありません。

## 発議

### (意見書提出)

●さとうきび生産回復対策並びに品質取引に係る基準糖度帯の見直しを求める意見書提出

●国民健康保険制度の広域化に伴う国保事業費納付金の見直しを求める意見書

●核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書(全会一致で可決)

### 予算委員会と本会議

産業厚生委員会に分割付託された平成30年度一般会計予算案審議の中で、台風被害による農業所得の減収に堆肥の値上は認められないとの事で委員会は否決すべきとしたが、本会議での採択は原案賛成多数で可決した。

# 予算委員会報告

総務文教委員会委員長 河野 浩二

総務文教委員会に分割付託された平成30年度南種子町一般会計予算の経過と結果について報告します

## 会計課

一般会計及び特別会計、並びに病院事業会計の歳入・歳出に属する歳計現金、所得税・住宅敷金等の歳計外の出納及び保管、株券等の有価証券の管理、並びに各基金の管理運用、物品・油脂類等の管理に努めている。

質疑 旧南高跡地の整備は考えていないか。  
答弁 活用を始めてからの事業がない。単独でやる場合は起債事業しかない。

## 税務課

町税は本町の重要な自主財源である。適正な課税客体の把握と課税を基本として、税収確保を図ることを基本に予算編成を行った。

質疑 給与・営業・農業所得が増加との考えで調停している。何を基本にしているのか。

各地区の公民館を基軸として、家庭・学校・地域・各種団体との連携を図りながら、生きがいと温もりに満ちた生涯学習社会を推進し、共生・協働の地域社会づくりに努めていく。

質疑 広田ミュージアムの使用料が極端に減っている。

答弁 建設当初の見込みからするとかなり低くなって

## 教育委員会給食センター

子どもたちが「食」に関する正しい知識や望ましい食習慣を身につけることができるよう、「食育」の取り組みを推進する。

質疑 界面活性剤は河川・海の汚染につながる。浄化槽の設置は建て替えも含めて検討しているか。

答弁 給食センターは38年経過しており老朽化が進んでいる。施設建設を5次長期振興計画で平成31年度設計委託950万円を計上している。浄化槽の設置は建て替えに合わせてやっていく。

## 教育委員会管理課

教育文化の振興については「あしたをひらく心豊かたたくましい人づくり」を基本目標として、人間性豊かたたくましく生きる町民の育成を目指し、活力ある教育の振興を図っていく。

質疑 宇宙留学生の内訳は。

答弁 里親留学38名。家族留学16名(10世帯)

質疑 スクールバスの運行形態は。

答弁 これまでと同じだが大川線に1路線追加して5路線で運行する。

## 企画課企画開発係

トライタウン南種子町 宇宙・歴史・文化の町総合戦略に基づき推進していく。

質疑 地域おこし協力隊員は任期を終了しても南種子に定住する意志はあるか。

答弁 採用段階では3年後残る予定と聞いている。

質疑 地方創生事業として何を取り組んでいるか。

答弁 定住対策・空家対策。平成30年度は宇宙留学のOG・OBの合同同窓会を考えている。

## 総務課・選挙管理委員会

予算編成の基本方針として真に必要と認められる行政需要に対応するため、重点的かつ効果的・効率的な施策の展開に努めている。

質疑 交通指導員の報酬引き上げを考えているか。

答弁 平成30年度当初予算で引き上げるよう予算計上している。

質疑 ふるさと納税の活用策は。

答弁 寄付者の思いも含めて何に活用したらいいか、企画課等とも連携をとりながら検討したい。

以上で総務文教委員会に分割付託された議案第23号平成30年度一般会計予算は、原案の通り可決すべきものと決定した。

討論はなく採決に入り、総務文教委員会に分割付託された議案第23号平成30年度一般会計予算は、原案の通り可決すべきものと決定した。

尚、当委員会の提言事項として

●コミュニティバス及びスクールバスの活用で公立種子島病院からの帰りの便の確保をすること。

●スクールバスの車庫の位置変更と活用の方策を検討すること。  
を執行当局へ申し入れることを決定した。

# 予算委員会報告

産業厚生委員会委員長 上園 和信

産業厚生委員会に分割付託された、平成30年度一般会計予算、4特別会計予算の審査の経過と結果を報告します。

## 農業委員会

農地利用の適正化の推進に關する事務が必須事務に位置付けられた。担い手への農地集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消、農地利用の最適化に取組む。

**質疑** 認定農業者、担い手農家数と年齢構成は。

**答弁** 認定農業者は約100人、担い手農家の農業委員会決定分は175人、年齢構成はだしてない。

## 企画課観光経済係

種子島南部観光地整備事業で、浜田海浜公園と長谷公園の環境整備、花のまちづくりとして「ジャカランダ」「サンダンカ」の植栽を進め、商工業の振興は、購買力の流出防止や元気な商店街づくりを進める。

**質疑** 上中市街地トイレ・駐車場設置の予算が計上されていないが。

**答弁** 町長が議会でやりますと答弁している、早急に答えをだしたい。

## あおぞら保育園

0歳から5歳児までの子どもを預かり、年齢に応じた保育、保護者の就労時間に合わせた1時間の繰り上げ繰り下げ保育、子育て支援事業など、就学へ向けた取り組みを実施する。

**質疑** 児童福祉費負担金が昨年より増えている、園児数が減っているのに増えた理由は。

**答弁** 予算は、平成29年12月現在調定額の85%で計上している。

## 総合農政課

早期水稲は、国の生産数量目標配分の廃止など政策見直しが見られ、水田農業確立推進活動事業による農家への

情報提供に努める。さとうきび・澱粉原料用甘藷の生産拡大と、レザー、ロベの花弁類は栽培技術向上、施設整備の支援を図り、農業所得向上を目指す。

**質疑** 堆肥センターの堆肥、4月から値上げするのか。

**答弁** 4月からバラ堆肥が当たり9000円に、散布は据え置き。フレコンは4500円に、袋堆肥は3500円に値上げする。

## 建設課(簡易水道事業)

安定した水道水供給のため、水道施設の維持管理と断水・漏水等不具合改善に対応し、安心・安全な水道水の供給に努める。

**質疑** 町内の水源は何ヶ所か、水量は今の水源地で対応可能か。

**答弁** 水源は全部で6カ所、中央地区に摺久保・小比良ほか4カ所、西部地区は木原に地下水を水中ポンプで揚げており、島間も河川水をポンプで揚げています。中央地区・

西部地区・島間地区とも水量的には心配ない。

## 建設課

継続事業で新栄町焼野線、堂中野線、恵美之江線の改良舗装を実施。橋梁長寿命化修繕計画で、夏田橋ほか5つの橋を計画。河川管理は、寄り洲の除去などの環境整備を図る。

**質疑** 公営住宅の建設予定と、地区からの要望状況は。

**答弁** 新しい建設予定はなし。下中地区から要望が出されている。

## 保健福祉課

住民が安心して暮らせるまちづくりを推進する。「地域支援事業等」をより充実させ、各地区・集落公民館や福祉団体と連携した高齢者、障害者、子どもを含めた総合窓口の設置、包括的支援体制を強化する。河内温泉センター運営は、シルバー人材センターに管理を委託する。

**質疑** 地域密着型サービス事業所、町内に何方所開設しているか。

**答弁** 小規模多機能型1

事業所、介護老人福祉施設1事業所、グループホーム3事業所、通所介護事業所1事業所、計6事業所。

以上で一般会計、4特別会計の審査を終わり、会計ごとに討論・採決に入り、起立による採決を行った。

産業厚生委員会が分割付託を受けた平成30年度一般会計予算について討論に入り、1人の委員から「総合農政課の堆肥センター運営に關する予算に納得できない部分がある、農林水産費を含め反対する」との反対討論があった。採決の結果、起立少数で産業厚生委員会が分割付託を受けた平成30年度南種子町一般会計予算は否決すべきものと決定した。

平成30年度国民健康保険事業勘定特別会計、簡易水道事業特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療保険特別会計予算については討論もなく、可決すべきものと決定した。

執行当局に対し申し入れ事項は、「さとうきび・澱粉原料用甘藷の増産対策に万全を期すること。」を決定した。

以上で、予算審査の経過と結果の報告を終わります。

# 産業厚生委員会 委員長報告

委員長 上園 和信

## 調査件名

島間港及びロケット運搬道路、種子島空港の整備促進について

## 調査の目的

鹿児島県管理の島間港並びに国道58号線島間港から上中までの間と県道荃永上中線、種子島空港の早期整備を要請し、本町はもとより種子島地域の振興・発展と、今後大きく進展しようとしている宇宙開発への支援・協力体制強化へ繋げていくことを目的とするもの。

## 事前調査

平成29年8月24日に議会第2委員会室で、ロケット輸送業務を担う、三菱重工(株)より2名に出席いただき、実施した。

ロケットは愛知県飛鳥村から貨物船で島間港に運び陸揚

## 調査実施日・場所

熊毛支庁建設部大塚建設部長兼建設課長並びに担当職員5人が出席し、平成29年11月17日熊毛支庁会議室で実施。

鹿児島県庁は、土木部空港港湾課・道路建設課、企画部地域政策課・離島振興課の担当職員が出席し、平成30年1月31日、県庁7階会議室で実施した。

## 島間港の整備促進

島間港は重要な港湾だと理解している。種子島南部の物流の拠点、定期フェリーの発着港、ロケット機材の陸揚げ等。外海に面しており波浪が大きい、港内の静穏度向上のため、平成20年度から防波堤(西)の整備を進めており、平成28年度本体工事160万を完了、今後は消波ブロックと上部工が残っているが、早期完成に努めたい。

昨年砂が島間港航路の東側に相当量溜まっていることが分かった。平成28年度から浚渫作業を進めている。一部

は防波堤工事に使う土砂に使用、平成29年度は大規模に浚渫、土砂を処分する場所がなくなつたため、海洋投入処分の手続きを進めている。国の承認次第、できるだけ早く浚渫作業に着手したい、との説明。

**質疑** 防波堤(西)整備の完成年度は。

**答弁** 予算が絡むことなのでいつ完成とはいえない。少なくとも数年で完成すると思っている。交付金事業でやっているので金額の増減が激し



▲島間港全景

い、計画どおりにはいかない、静穏度は確保される。

**質疑** 土砂の浚渫工事は平成29年度で完了か。

**答弁** 予算の関係があるが、平成29年度着手、現在海洋投棄処分について環境省と協議中。



▲島間港

### ロケット運搬道路の整備

ロケット運搬道路の整備は、ロケット運搬道路の機能を確保することで整備を進め、全区間2車線改良と、できるだけ幅広でカーブを少なくし、ロケット運搬に支障を来たさないよう整備してきた。

その結果、全線が2車線に改良済みとなっており、特に荃永上中線は、勾配が急な部分は一部3車線となっている。

要望にある2車線を3車線にすることについては、交通量的には2車線で十分な整備ができていいると考える。



▲県道 588 号線



▲県道 588 号線

ロケットは国の事業で重要だと理解するが、その整備の必要性、緊急性など今後検討し、南種子町と連携しながら研究していきたい。今すぐ着手ということは非常にむづかしい、との説明。

**質疑** ロケットが大型化しサイズも大きくなる。道路標識の移設や着脱式への変更、歩道縁石変更、輸送道路周辺の定期的な樹木伐採等、県に要望はきていないか。

**答弁** 運送する会社に今

後道路の拡幅や支障になっていないかなど話をした。H3ロケットまでにはこの路線は問題、改良してもらわないといけない所はないとお聞きした。強いてあげれば、イプシロンロケット輸送する場合、宮瀬橋の強度が足りないの、今対応している。

### 種子島空港の整備促進

種子島空港は平成18年3月完成。滑走路は2000m、乗降客は7万7千人程度、就航率は気象条件によりばらつきはあるが、過去5年間平均は95・2割、国際基準が95割なのでそれを少々上回っている。

種子島空港はジェット化で整備され、ILS(計器着陸装置)も設置されており、カテゴリー1(ワン)という状況で、鹿児島空港や奄美空港など一般的なジェット空港の機能を備えている。との説明。

**質疑** ILS(計器着陸装置)の整備、どのくらいかかるか。

**答弁** 最近青森空港が整備した。どれくらいかかったかは分からないが、全国に100か所くらい空港があるが、カテゴリーII(ツー)以上を設置している空港は9カ所。飛行機の計器だけではなく、パイロットのライセンスも必要。

**質疑** 欠航が多い、特に5・6月の濃霧時期。カテゴリーとは。

**答弁** 平成25・26・27年度5・6月の就航率は80割台。

カテゴリー1(ワン)は、飛行機が降りる場合高度60mで滑走路が見えないと着陸したため、カテゴリーII(ツウ)は、高度30mで滑走路が見えれば着陸可能。カテゴリーIII(スリー)は、着陸直前まで電波で誘導。日本では、カテゴリーIIは3空港、カテゴリーIIIは7空港となっている。  
(※カテゴリーII・III両方設置している空港あり。)

以上で調査を終了し、島間港、国道58号線島間港から中間、県道荃永上中線、種子島空港は本町はもとより種子島地域の経済の発展・振興には欠かせない重要な施設であり、併せて、今後大きく進展しようとしている宇宙開発の推進にも大きく関連することから、これら施設の早期整備を関係機関に対し、強く要請すべきであると考えます。  
これを当議会の意見として執行当局へ申し入れることが適当であると決定した。



▲種子島空港

賛否が分かれた議案 (○は賛成、×は反対、△は除斥)

平成 30 年第 1 回定例会 (3 月 5 日～ 19 日)

(議員氏名)	河野 浩二	柳田 博	大崎 照男	塩釜 俊朗	広浜 喜一郎	上園 和信	立石 靖夫	日高 澄夫	西園 茂	小園 實重
(議案名)										
議案第 23 号 平成 30 年度 南種子町一般会計予算	○	○	○	×	×	×	×	○	○	議長職
その他の議案については、全会一致で可決しました。										

編集後記



平成30年度予算も決定し新しい年度がスタートしました。3月定例会では、9名の議員が一般質問し、活発な議論が展開されました。

議員必携には、このように記述しています。議員が行う質問や質疑、討論は、同時に住民の疑問であり意見であり、表決において投ずる一票は住民の立場に立つての真剣な一票でなければなりません。又、「具体的政策の最終決定」と「行財政の運営の批判と監視」を完全に達成できるように議会の一員として懸命に努力することが議員の職責である。

私達議員は、このような立場で頑張る必要があると思う次第です。

今回の定例会では、3件の意見書を、県知事や、国に提出いたしました。特に「さとうきび生産回復対策ならびに、品質取り引きに係る基準糖度帯の見直しを求める意見書」の提出の理由は、高齢化による離農で栽培農家の減少の影響もあるが、相次ぐ台風の被害により大幅な単収減と併せ、平均糖度が例年を大きく下回り、農家所得が激減し生産意欲の減退に繋がっていることが最大理由であるという事です。先日の南日本新聞に、種子島のきび11万6700ト、平成17年産過去2番目の低水準との事である。県熊毛支庁、新光糖業が明らかにしたという。

又、澱粉原料用甘藷も平成

17年度生産量は2万4136トと過去最低水準だったと報道されています。本町の基幹作物として主に、さとうきび、からいも、米、なくてはならない重要作物です。私達もこのような事をしっかり受けとめる必要があると思う次第である。

沖繩、大島は梅雨に入ったとの事です。雨期に入る前に対策を取り、収穫の時期が、明るい笑顔が出来ることをお祈りするのみです。

議会広報編集委員会

(文責) 塩釜 俊朗

